



図書館からの
お知らせ

・七夕飾りを入口近くに設置
しています。

・6月1日より館内施設利用
予約方法がweb予約に変わ
りました。

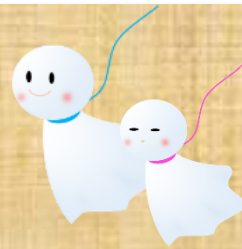


6月の開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	☆1	2	3	4
5	6	⑦	☆8	9	10	11
12	13	⑭	☆15	16	17	18
19	20	⑳	☆22	23	24	25
26	27	28	☆29	30	7/1	2

イベント日程

- 読書会
- ☆ だだ日本語で話すだけ @ ラーニングcommons



開館時間	8:30-21:00
	10:00-17:30



本屋大賞特集
図書館蔵書内の過去及び今年のノミネート作品紹介

舟を編む 三浦しきん

2012年本屋大賞大賞受賞

出版社の辞書編集部を舞台に、新しい辞書「大渡海」の編纂に取り組む人々の姿を描くこの作品では辞書づくりを通して、言葉を伝えることの難しさについて描いています。現代では、インターネットの普及により、何か知りたいことがあれば、検索することですぐに答えが見つかります。そんな時代だからこそ、あらためて「言葉」の重みについて考えるきっかけとなるとも面白い小説です！



怒り 吉田修一

2015年本屋大賞第6位

八王子で起きた未解決の夫婦惨殺事件。現場には血文字で「怒」と書かれていた。事件から1年後、前歴不詳の3人の男が現れる...人は、他人の何を知ることができるのか、信じるからこそ生まれる「怒り」について考えながら読んでほしい作品です。

ふくわらい 西加奈子

2013年本屋大賞第5位

マルキ・ド・サドをもじって名付けられた書籍編集者の鳴木戸定。25歳。彼女は、暗闇での福笑いを唯一の趣味とする。不器用に生きる彼女は、様々な人と出会い世界の美しさに気づいていく。この作品のおすすめポイントは、生命力みなぎる個性的な登場人物の面白さです。人間における美しさとは、何をもって定義するのか考えるとも面白い小説です。



流 東山彰良

2016年本屋大賞第8位

1975年の台湾台北。祖父は殺された。死の真相を追い物語は台湾から日本へ、そして祖父がいた中国大陸へと続いていく。歴史の影を残しながらも主人公たちは混沌とした大地で成長し、やがて大人になっていく。大きなうねりの中をひたすらまっすぐな若者たちが駆ける青春小説です。この作品のオススメポイントは、文章に躍動感があり、読んでいても楽しいことです。

64(ロクヨン) 横山秀夫

2013年本屋大賞第2位

昭和64年に起きた少女誘拐殺人事件をめぐり、刑事部と警務部が対立する。この作品のおすすめポイントは、とにかく重厚なところ。緻密な警察内部の描写や登場人物の関係性、広報室と記者クラブの緊迫感などなど読み応えたっぷりの小説です。多くの伏線を抱えながら、物語は昭和から平成へ、壮大な物語の中にある深い人間ドラマを楽しむことができます。



■新コンシェルジュのつばやき



年度が新しくなり、我ら図書館コンシェルジュにも新たな仲間が加わりました。今号ではそんな彼らの中から5人のつばやきをお届けします。

このたびコンシェルジュになりました。図書館は雰囲気が好きです。イベントチームに入って企画、実行に努めたいです。読書も好きなので色々な本を読んでみたいです。1回生は少ないですが、力になれるよう頑張ります。(林)

小さな頃から図書館が好きだったので、今年度から図書館コンシェルジュとして活動できるともわくわくしています！皆さんに手に取って頂けるようなLiMeを発行できるよう尽力していきたいです。(佐伯)

図書館コンシェルジュの仕事は私にとって大きな挑戦です。装飾やブックカバーのデザインを考えて提案するのを楽しみにしています。皆さん是非図書館に来館下さい。よろしく願います。(峪田)

今回、新しく図書館コンシェルジュに参加させていただくことになりました。横山晴香です。今はまだ分からないことも多いですが、広報チームの一員としてLiMeの発行など、頑張っていきたいと思えます！未熟者ですが、温かい目で見守っていただけたら幸いです。(横山)

今年度から図書館コンシェルジュに参加させていただきます。山本です。食べることが大好きで特にマヨネーズをこよなく愛しております。ごはんにも、野菜にも、卵料理にも、お肉にも、マヨネーズは何にでも合いますよ!!(山本)

■絵本の読み聞かせ

5月22日(日)絵本の読み聞かせ第二回を松江市立図書館にて実施しました。大人の参加者が多く、初めて読み手を経験した私には戸惑いもありましたが、読み聞かせの前後には参加してくれた方との交流も出来ました。年度が替わりメンバーも増えたことですし、様々な意見を取り入れながら成長していきたいと思えます。(國富)

■4・5月の読書会

今年度から新たな企画として読書会を始めました！読書会といえば、事前に本を読んでから複数人で話し合ったり、考えたりするイメージがあると思います。

しかし！今回、新たに始める読書会では、そういったイメージを払拭し、誰でも参加できる自由な読書会を目指しています！

そして4月12日に第一回目の読書会を開催しました。一回目は、押し本の紹介回ということで、参加して下さった方から様々なジャンルの本を紹介していただきました。みなさんの本に対する熱意、意外な着眼点を知ることで、自分の知らなかった新たな本の魅力を発見することができました。参加していただいたみなさん、ありがとうございました。

今後も、毎週火曜日に図書館2階のグループ学習室で開催していくことを予定していますので、ぜひ興味があったらご参加ください！今後の読書会の詳細については、図書館内の掲示板等で発表していきます。(森岡)

■市立図書館からの団体貸出について

大学附属図書館(以下当館)では松江市立図書館から約100冊の図書を借りているのを皆さん知っていましたか？

これは松江市立中央図書館が行っている「**団体貸出**」と呼ばれる制度を利用して島根大学向けには100冊の本を2ヶ月間貸し出しを受けています。

本は2ヶ月毎に入れ替わりますが、展示期間中は島大図書館蔵書と同様に自動貸出機で借りることができます。(期間は通常より短く1週間です)

毎回借りる本のテーマと選定は、**図書館コンシェルジュ**が行っています。今回のテーマは「**映像化された作品**」と「**災害**」です。

「**災害**」がテーマの作品では、記憶に新しい東日本大震災の体験談や防災に役立つ知識をまとめた作品を選んでいきます。

「**映像化された作品**」では「**バッテリー**」や「**インシテミル**」などの映画やドラマ化した作品や当館では所蔵していない「**傷物語**」などのアニメ化した作品も数冊あります。

しかし、中でも映画監督の対談やエッセイ、アニメ映画の絵コンテなどの「**本**」でないと読むことのできない作品をオススメします。

(吉田)